

## 第5学年 図画工作科学習指導案

**題材名** 「いつまでも いつまでも」 (絵や立体に表す)

**本題材の指導にあたって**

このような題材で

- 本題材のねらいは、未来に遺したいA町のさまざまなよさを耐久性に富む漆喰を使って、レリーフで表すことである。  
題材開発にあたっては、
  - ・ 美術館等へ行き題材を探したり、校区に遺る白壁通り等を取材したりした。
  - ・ 鏝絵職人の方を訪問して、鏝絵作品の鑑賞、制作過程の説明等をしていただいた。
  - ・ 福岡市教育センターでの過去の教科書研究をした。
  - ・ 漆喰等の材料をホームセンター等へ探しに行った。
  - ・ 鏝絵職人の方をお招きして、鏝絵の試作体験をした。
- 主な指導の内容は、次の通りである。
  - ・ 漆喰という新しい表現材料に関心を持ち、意欲的に表すこと。
  - ・ A町のよさを表す形を考え、個性を生かした発想をすること。
  - ・ 浮き彫りの効果を考え、自分の思いに合うように工夫して表現すること。
  - ・ 作品や活動を振り返り、友達との交流を通してつくり上げた喜びを感じる。
- 本題材の価値は、次の通りである。
  - ・ 校区に遺る白壁通りは子どもたちにとって身近な存在であり、白壁に装飾された鏝絵は身近な芸術作品であること。
  - ・ A町遺産である白壁通りに、子どもたちは親しみとあこがれを抱いていること。
  - ・ レリーフという新しい表現方法は、子どもたちの表現への意欲を呼び起こすこと。
  - ・ 漆喰のもつ独特の感触や量感、色、保存性は、表現への意欲を呼び起こすこと。
- 教科書題材との関連については、5年生図画工作科教科書上巻の「トローリかたまれ」(立体に表す)と、液体粘土を材料として思いを表す点でつながりがある。次学年の「のぼしてまるめてくっつけて」と、粘土を材料として自分の思いを立体に表すことに発展していく題材である。

このような子どもだから

- 1学期に「白壁のある風景」の水彩画に取り組んだ。総合的な学習では、「白壁通り再発見」に取り組み、白壁通りの歴史や白壁の素材等自分の課題を設定し調べており、漆喰についての興味・関心が高まっている。
- 本学級の子どもたちは、図画工作への関心・意欲が高く、アンケートの結果、ほとんどの子どもが図画工作科を好きと答えている。なかでも、自分で考えた方法で表現することを好む傾向にある。「白壁通り」の題材で、奥行きを感じながら絵に表す楽しさを味わえるようになってきた。
- アンケートの結果から、すぐには表現したいものがないという発想面で支援が必要な子ども、思い通りに表現できていない子どもや作品をつくっているとときに誰かに相談したい子どもなど技能面で支援が必要な子どもがいる。

このような子どもに

- 漆喰でA町のよさを鏝絵に表す活動を楽しむことができる。
- 有田の町のよさについて自分の思いを表現する下絵を構想することができる。
- 自分の主題を表す形を立体感を考えながら工夫して表すことができる。
- 作品や活動の様子を交流し、他のよさを見付け、表現の楽しさを味わうことができる。

このような展開で

- |                     |   |   |
|---------------------|---|---|
| (1) 鑑賞活動 「主題をもつ」    | → | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ A町の白壁通りやB町、C町の鏝絵作品のよさを味わわせる。</li> <li>○ 鏝絵のよさや美しさが伝わる鏝絵職人さんの優れた作品や教師の参考作品を紹介し鑑賞する。</li> </ul>    |
| (2) 鑑賞活動 「主題を明確にする」 | → | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ イメージスケッチに表すことができるように参考作品のよさを鑑賞する。</li> <li>○ 似たテーマの小グループで作品を鑑賞する交流活動を提案する。</li> </ul>            |
| (3) 鑑賞活動 「主題を表現する」  | → | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 漆喰のもり上げ方がわかるような参考作品を提示しそのよさを自分の作品に生かす活動提案をする。</li> <li>○ 表現方法を選択できるような参考作品のコーナーを設置する。</li> </ul> |
| (4) 鑑賞活動 「よさを認め合う」  | → | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 校庭フェンス等への作品を展示する。</li> <li>○ ワークショップ形式等の鑑賞の場を設定する。</li> <li>○ 作品紹介・鑑賞カードを活用する。</li> </ul>        |

指導計画（全12時間 図工11時間+総合1時間）

学習過程	時間目	主な学習活動と内容	展開の工夫
感受・着想	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 鑑賞活動 「主題をもつ」ための鑑賞活動               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ A町の白壁通り等の鏝絵作品の鑑賞</li> <li>・ 鏝絵のよさや美しさが伝わる参考作品の鑑賞</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 鏝絵のよさや美しさが伝わるように、白壁通りの鷹の鏝絵、B町やC町の鏝絵の資料を提示する。</li> <li>○ 実物から鏝絵のよさや美しさが伝わるように、鏝絵職人・Tさんや教師の参考作品を提示する。</li> <li>○ 意欲がわくように、A町のよさを鏝絵にして遺そうと提案する。</li> <li>○ A町のよさを見つけることができるように、事前に「場所、もの、人の気持ち」を視点として提示し、簡単な絵に表しておく。</li> </ul>
発想・構想	(1) 総合 2 3 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 鑑賞活動 「主題を明確にする」ための鑑賞活動               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 白壁通りの鏝絵作品の鑑賞</li> </ul> </li> <li>○ イメージスケッチに表すことができるような参考作品の鑑賞</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>2 白壁通りで、鷹の鏝絵を鑑賞する。           <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 白壁通りの鷹の鏝絵を直に見て、よさを味わうこと。</li> </ul> </li> <li>3 A町のよさを取材し、イメージスケッチをかく。           <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 鏝絵でのこしたいA町のよさをイメージスケッチに表そう。</li> <li>○ 表したいA町のよさをとらえること。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ A町のよさを表している。</li> </ul> </li> <li>○ 作品ができるまでの過程を知ること。</li> </ul> </li> <li>4 下絵作りをする。           <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) イメージスケッチをもとに、鏝絵の下絵をかく。               <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 鏝絵でのこしたいA町のよさを下絵に表そう。</li> <li>○ A町のよさが伝わるように強調して表すこと。</li> <li>○ 表したいことが伝わるか主題を確かめること。                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 表したいA町のよさが伝わるか、話し合っている。</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>(2) 板と養生シートに下絵を写し取る。               <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の思いが表れるように、下絵をシートに写そう。</li> <li>○ 板と板に貼った養生シートに下絵を重ね、写し取ること。</li> </ul> </li> </ol> </li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 強調の効果が分かる浮世絵等の資料の鑑賞</li> <li>・ 似たテーマの小グループでの交流活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 白壁通りで安全に鑑賞できるように、事前に鑑賞しやすい場を下見し、車の通行に注意する。</li> <li>○ 鷹の鏝絵のよさを味わえるように、よさを話し合ったり、鏝絵を色々な角度で見たりする。</li> <li>○ 鏝絵に表すことのできるイメージスケッチになるように、教師の参考作品を提示する。</li> <li>○ 事前に表したい主題をもとに個別の支援を考え、うまく進んでいない子には話を聞いたり、共に活動したりする。</li> <li>○ 学習への興味を持つことができるように、作品ができるまでの過程の一部を演示する。</li> <li>○ 強調の効果がわかるように、参考作品として浮世絵等の資料を提示する。</li> <li>○ 事前に表したい思いをもとに個別の支援を考え、うまく進んでいない子には資料を提示したり共に活動したりする。</li> <li>○ 自分の表したいことが伝わるかどうか確かめるために、小グループでの交流活動を提案する。</li> <li>○ 自分の主題が表れた下絵をシートに写せるように、教師の参考作品を提示する。</li> <li>○ 粘土で試しの活動をした後、自分の思いに合うように下絵を写していく。</li> </ul>
表現	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 鑑賞活動 「主題を表す」ための鑑賞活動               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漆喰のぬり方やもり上げ方を理解できるような参考作品の鑑賞</li> </ul> </li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>5 下絵をもとに中心となる部分を表す。           <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 立体の感じがよく分かるように、もり上げ方を工夫して中心となる部分を表そう。</li> <li>○ 中心となる部分を漆喰でもり上げ、立体感が出るように工夫して表すこと。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ビデオに写った参考作品のもり上げ方の工夫を見ている。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 思いを表すことができるように、もり上げ方がわかる資料コーナーやもり上げやすい用具のある用具コーナーを設定する。</li> <li>○ 色で思いを表したい子どものために、色のついた漆喰を用意する。</li> <li>○ 立体感などの工夫が表れている参考作品をビデオカメラで見せることで、めあてをつかむことができるようにする。</li> <li>○ もり上げ方が理解できるようにするために、演示をする。</li> <li>○ 制作する前に、参考作品を見たり、さわったりして思いを表す工夫を考える時間を設定する。</li> </ul>

表   現	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現方法を選択できるような参考作品のコーナーの活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>参考作品を見たり、さわったりして工夫を考えている。</li> <li>思いを表す色漆喰を選んでいる。</li> <li>思いを表す工夫をして、もり上げている。</li> <li>お互いの作品のもり上げ方の工夫について、話し合っている。</li> <li>もり上げ方の工夫という視点で、振り返っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前に評価補助簿をもとに個別の支援を考え、うまく進んでいない子には、資料や用具を紹介したり共に活動したりする。</li> <li>お互いの活動のよさを見つけることができるように、もり上げ方の工夫という視点から小グループで作品を交流する。</li> <li>活動のよさを見つけることができるように、もり上げ方の工夫という視点で振り返る。</li> <li>立体感などの工夫が表れている作品を見せることで、めあてをつかむことができるようにする。</li> <li>自分の表し方が伝わるように、似たテーマの小グループで交流する。</li> <li>事前に評価補助簿をもとに個別の支援を考え、うまく進んでいない子には、資料や用具を紹介したり共に活動したりする。</li> <li>周りの漆喰のぬり方の工夫がわかるように、参考作品として鏝絵職人高松さんや教師の参考作品を提示する。</li> <li>周りの漆喰のぬり方の工夫がわかるように、ぬり方の違う資料を用意する。</li> <li>思いを表すことができるように、もり上げたり、型押ししたりできる用具のある用具コーナーを設定する。</li> <li>制作する前に、参考作品をみたり、さわったりして思いを表す工夫を考える時間を設定する。</li> <li>事前に評価補助簿をもとに個別の支援を考え、うまく進んでいない子には、資料や用具を紹介したり共に活動したりする。</li> </ul>
	7		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">         立体の感じがよく分かるように、もり上げ方をさらに工夫して中心となる部分を表そう。       </div>	
	8		<ul style="list-style-type: none"> <li>中心となる部分を漆喰でさらにもり上げ、思いを表すこと。</li> <li>立体感が出るように、さらに工夫して表すこと。</li> </ul>	
	9		6 周りの部分を表す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">         中心となる部分の立体感が分かるように、周りの部分を表そう。       </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>周りの部分に漆喰をぬり、思いを表すこと。</li> <li>中心となる部分の立体感を考えて表すこと。</li> </ul>	
10				
鑑 賞	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>鑑賞活動 「よさを認め合う」ための鑑賞活動           <ul style="list-style-type: none"> <li>校庭フェンス等への作品展示</li> <li>作品カード、鑑賞カードの活用</li> </ul> </li> </ul>	7 鑑賞する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">         自分や友達の作品のよさを伝え合おう。       </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分や友達の作品を飾り、よさを鑑賞すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分や友達の作品のよさを鑑賞することができるように、校庭などに作品を飾る。</li> <li>表したい思いが伝わるように作品カードに思いを添え、ワークショップ形式で行う。</li> <li>友達の作品のよさを伝えることができるように、鑑賞カードを準備する。</li> </ul>

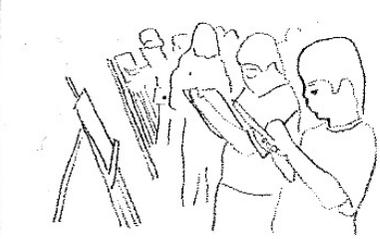
# 第5学年 図画工作科学習指導案（1 / 11）

**本時** 公開授業Ⅰ 場所：5年 教室

- 本時の目標**
- 鏝絵作品のよさや美しさを鑑賞し、表現への意欲を高め、自分の主題をもつことができる。
  - A町のよさを表しつつまでものこしたいと思っている子どもたちに、鏝絵職人さんの芸術的な作品や教師の参考作品を鑑賞する活動を取り入れれば、子どもたちは意欲を高め、表したいA町のよさについて主題をもつことができるであろう。

**準備** (児童) 図工ノート、探検ボード、筆記用具 (教師) 鏝絵の資料、漆喰、鏝、参考作品、イーゼル、コンテ、画用紙

**本時展開**

主 な 学 習 活 動 と 内 容	教 師 の 支 援
<p>鑑賞活動 「主題をもつ」鑑賞活動</p> <p>1 図画工作科で学習した白壁通りにある鏝絵や鏝絵職人さんのつくった芸術的な作品のよさを鑑賞し、本時のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;">                 こて絵の表し方のすてきなどところを見つけよう。             </div> <p>2 参考作品について表現のよさを見つける。</p> <p>(1) 鏝絵表現のよさを鑑賞する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 作品を鑑賞する視点を知ること。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ふくらみや厚さの違いを見付けている。</li> <li>・ 線の入れ方の工夫に気付いている。</li> <li>・ 模様の付け方の工夫に気付いている。</li> <li>・ 絵の大きさに着目している。</li> <li>・ てざわり（つるつるしている）を味わっている。</li> <li>・ 作品の周りの表現に着目している。</li> </ul> </li> </ul> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <p>(2) 自分が見つけた作品のよさを発表し話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 作品のよさを伝え合うこと。</li> </ul> <p>3 鏝絵にしてのこしたいA町のよさを絵に表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分がかきたいA町のよさを絵に表すこと。</li> </ul> <p>4 本時学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の学習を振り返ること。</li> <li>○ 次時の学習について知ること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 鏝絵のよさや美しさが伝わるように、白壁通りの鷹の鏝絵や安心院町、吉井町の鏝絵の資料を提示する。</li> <li>○ 鏝絵に込められた思いや願いを知らせることができるように、鏝絵にはたくさんの種類があることを紹介する。</li> <li>○ 鏝絵を制作する材料や用具がわかるように、漆喰や鏝を提示する。</li> <li>○ 実物から鏝絵のよさや美しさが伝わるように、鏝絵職人、Tさんと教師のつくった参考作品を提示する。</li> <li>○ 作品のよさや自分の好きなところを意欲的に見付けられるように、自分で作品を選び、その表現のよさを図工ノートに書かせる。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin: 10px 0;"> <div style="text-align: center;">  <p>提示資料</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>教師の参考作品 (バッタの鏝絵)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>白壁通りの鷹の鏝絵</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>鑑賞活動 「主題をもつ」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 白壁通りの鷹の鏝絵、B町・C町の鏝絵の資料</li> <li>2 鏝絵職人Tさんの鏝絵作品や教師の参考作品</li> </ol> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 鏝絵の表現のよさに気付くことができるように、絵の大きさ、形、厚み、線や模様の入れ方などの視点で整理していく。</li> <li>○ 意欲がわくように、A町のよさを鏝絵にしてのこそうと提案する。</li> <li>○ A町のよさをだまかに表すことができるように、コンテを準備する。</li> <li>○ 本時の学習を振り返ることができるように、図工ノートに感想を書かせる。</li> <li>○ 次時学習では、自分の主題が表れるようにイメージスケッチにかいていくように促す。</li> </ul>

## 第5学年 図画工作科学習指導案 (5 / 1 1)

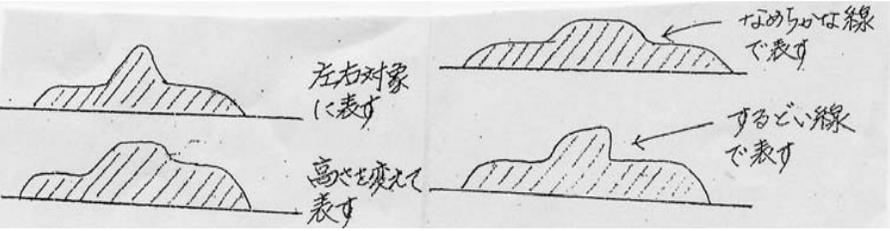
本時 公開授業Ⅱ 場所: 理科室

本時の目標 ○ 主題の中心となる部分の立体感が表れるように、もり上げ方を工夫して表すことができる。

授業仮説 ○ 主題の中心となる部分を表そうとする子どもたちに、参考作品の立体感をとらえることができるように提示すれば、立体感が表れるようにもり上げ方を工夫して表すことができるであろう。

準備 (児童) 制作中の作品、練り漆喰、粉漆喰、鏝、使いたい用具、図工ノート、筆記用具 (教師) 練り漆喰、粉漆喰、鏝、粘土へら等の用具、参考作品、掲示資料

本時展開

主 な 学 習 活 動 と 内 容	教 師 の 支 援
<p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">立体の感じがよく分かるように、もり上げ方を工夫して中心になる部分を表そう。</p> </div> <p>○ 前時を振り返り、本時のめあてをつかむこと。 ○ 教師の演示を見て、中心となる部分のもり上げ方を知ること。</p> <p>2 参考作品を鑑賞し、表したい形の立体の感じが分かるように工夫して表す。</p> <p>(1) もり上げ方の工夫が分かる参考作品を鑑賞する。</p> <p>○ 参考作品を鑑賞し、もり上げ方の工夫をとらえること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参考作品を見たり、さわったりしている。</li> <li>・ 参考作品のもり上げ方の工夫を自分の表し方に生かそうと考えている。</li> </ul> <p>(2) 表したい形の立体の感じが分かるように、工夫してもり上げて表す。</p> <p>○ 表したい形の立体の感じが分かるように、工夫して表すこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 形が分かるように、部分ごとにもり上げている。</li> <li>・ 形が分かるように、模様をつけている。</li> <li>・ 立体の感じが分かるように、奥の部分からつくっている。</li> <li>・ 立体の感じが分かるように、もり上げる角度を工夫しながらつくっている。</li> </ul> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <p>3 本時の学習を振り返り、次時の学習について話し合う。</p> <p>○ 立体感が表れるようにもり上げ方で工夫したことを話し合い、本時のまとめをすること。 ○ 自分の活動を振り返り、次時の課題をつかむこと。</p>	<p>○ めあてをつかむことができるように、立体感が表れている参考作品と表れていない参考作品を提示し、比較することでもり上げ方の工夫をとらえさせる。</p> <p>○ 中心となる部分のもり上げ方を理解できるように、漆喰や鏝で演示をする。</p> <p>○ 作品を丈夫につくるために、漆喰は乾くと付きにくいことや部分ごとに仕上げていくこと、奥の部分からつくること等を知らせる。</p> <p>○ 立体感を表すことができるように、もり上げ方の工夫が分かる参考作品や資料のコーナーを設置し、見たりさわったりして主題を表す工夫を考えることができるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">鑑賞活動 「主題を表現する」</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div> <p style="text-align: center;">1. 参考作品      2. 教師の参考作品      3. もり上げ方の資料</p> </div> <p>○ もり上げ方の工夫ができるように、できるだけ主題が似ている子どもたちでグループを構成する。</p> <p>○ 主題を表すことができるように、色のついた練り漆喰も準備し個別に配付しておく。</p> <p>○ 立体感を表すことができるように、もり上げ方の工夫がしやすい用具のあるコーナーを設定する。</p> <p>○ 事前に評価補助簿をもとに個別の支援を考え、もり上げ方の工夫が分からない子どもには、参考作品や資料・用具を紹介したり、共に活動したりする。</p> <p>○ 形が分かるようにもり上げ方を工夫している子どもを認め、賞賛する。</p> <p>○ 友達のもり上げ方の工夫を自分の活動にとり入れることができるように、友達の活動も参考にするように促す。</p> <p>○ 活動のよさを見付けることができるように、もり上げ方の工夫という視点からグループで作品を交流する。</p> <p>○ 活動のよさを見付けることができるように、もり上げ方の工夫という視点で振り返る。</p> <p>○ 次時学習では、さらに自分の主題が表れるように、立体感を出す工夫をするように促す。</p>

題材名

いつまでもいつまでも

自分の主題（表したいこと）

イメージスケッチ（材料の工夫もかこう。）

題名（作品ができあがってから少し変えていいです。）

自分の思いはうまく表せましたか。



次にしたいことは何ですか。

1 （とてもよく表せた）    2 （まあまあ表せた）    3 （すこし表せなかった）    4 （表せなかった）

時	活動したこと（言葉・絵・写真など）	ふりかえり	先生から
3 ・ 4  発 想 ・ 構 想		○ 自分の思いはうまく表せましたか。	
		○ 次にしたいことは何ですか。	
5 ・ 6 ・ 7 表 現 I		○ 自分の思いはうまく表せましたか。	
		○ 次にしたいことは何ですか。	
8 ・ 9 ・ 10 表 現 II		○ 自分の思いはうまく表せましたか。	
		○ 次にしたいことは何ですか。	
<b>鑑賞会</b> <small>かんしょうかい</small> 発表したいこと 自分の思い 形・色・材料で工夫したことなど。			鑑賞会の写真



1 (とてもよく表せた)    2 (まあまあ表せた)    3 (すこし表せなかった)    4 (表せなかった)